

まち活

「ナゴヤWalkingクラブ」

①中村区太閤ゆかりのウォーキングコース

中村公園～中村区役所駅 約4.5km 70分

中村公園周辺を中心に豊臣秀吉、加藤清正ゆかりの寺社が多く見られ、中村日赤から東へ下町の風情が残る地域です。



中村公園の中央に、中村区が名古屋市内に編入されたのを記念して建てられた高さ24m、柱の直径が2.4mの鉄筋コンクリート製で、日本有数の大きさを誇ります。

若宮八幡社



米野村で昔から信仰されていました。明治42年に熊野社に合祀され、昭和26年に元の現在地に帰ってきました。

白王寺(中村観音)



華名山白王寺は中村遊郭の娼妓たちの信仰を集めました。無縁仏の遺骨を固めて作ったという高さ8m、重さ15tの観音像があります。

松岡健遊館本店



大正元年に建築された遊郭で、遊郭廃止後は旅館として営業していました。その後、平成13年に改装されて現在のデイサービスセンター松岡健遊館となりました。

素盞男神社



11月の酉の日に商売繁盛や家内安全を祈願する「酉の市」が開催され、開運の熊手や宝船などを買い求める客で賑わいます。

名古屋第一日赤病院(遊里ヶ池跡)



この地域は中村遊郭として栄え、ここにはかつて中村遊郭用地を整備するために掘られた遊里ヶ池があり中村の人々の憩いの場になっていました。

妙行寺



正悦山と号し、慶長10年に加藤清正が自分の生誕地である現在地に名古屋城築城の余材を用いて再建したといわれています。

常泉寺



太閤山と号し、慶長11年に加藤清正が円住院日誦上人とはかつて秀吉をまつるために秀吉誕生の地と言われた現在地に創建したものです。

名古屋競輪場



昭和24年に開設され、中部地方のメイン競輪場の1つで開催日には多くの人で賑わっています。

中村公園スポーツセンター



尾頭橋は佐屋街道の橋として堀川に架けられ、西側には街道沿いに尾頭橋商店街が続いています。

豊国神社



明治18年、豊臣秀吉の出生地と伝えられるこの地に、秀吉をしのんで建てられたものです。

八幡社



加藤清正は中村の地に3つの神社を創建したと伝わり、その1つ考えられる清正ゆかりの神社です。

中村公園文化プラザ 秀吉清正記念館



中村公園文化プラザがあり、2階は豊臣秀吉と加藤清正の2人に関する記念館で見学することができます。

